

四国の沢登り

--- 好天を求めて海を渡っちゃいました ---

秋田 誠 (CSS/彷徨倶楽部)

夏休みは久し振りに颯で岩登り三昧・・・と企んでいたら、日頃の行いが良いせいかお盆休み初日から悪天続きで回復の気配なし。せっかくの休みを家でゴロゴロしているのは情けないし、亭主は元気で外ってコトだし。東北なら晴れるかも。上越の谷ならなんとか天気もちそう。などと、天気がましそうな山域を彷徨い探し、ようやく落ち着いたのが四国。愛媛県での沢登りだ。往復900kmのロングドライブだったが、天気にも恵まれ沢も楽しかった。

日程：2012年8月17日(金)～19日(日)

参加者：北村昌文(湖南岳友会)、長谷川伸次、秋田誠(彷徨倶楽部)

【滑床溪谷】

8月18日(土) 晴れ

万年橋駐車場6:00 --- 雪輪ノ滝8:00～8:05 --- 二ノ俣9:35～9:50 --- 登山道(1,040m)
11:05～11:30 --- 八面山12:20～12:30 --- 二ノ俣13:35～13:40 --- 万年橋駐車場14:55

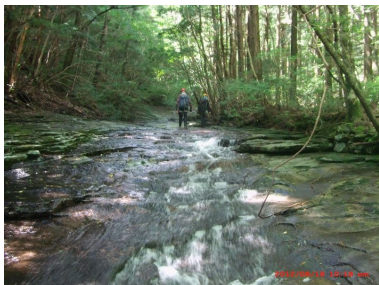
この谷は滑滝が果てしなく続く。溪がすべて滑と云っても過言でない。この山行で私は今年1年分の滑歩きを堪能した。おそらくこの溪は国内でも最長の部類に入る滑谷ではないだろうか。二ノ俣まで谷の両岸には流れに沿って遊歩道が並走しており緊張感に欠ける点は否めないが、話の種に一度は訪れても良い溪だと思う。二ノ俣を左に分け、流れが細くなった一ノ俣の滑をさらに詰めると、藪漕ぎもなく鬼ヶ城山(1,151m)山頂直下の巻き道に出た。入渓点の万年橋から2時間ほどのところには、右岸から雪輪ノ滝(50m)という美しい大滝が落ちている。この溪はキャニオニングのメッカらしく、雪輪ノ滝では若者たちが嬌声をあげてウォータースライダーを楽しんでいた。

【床鍋谷】

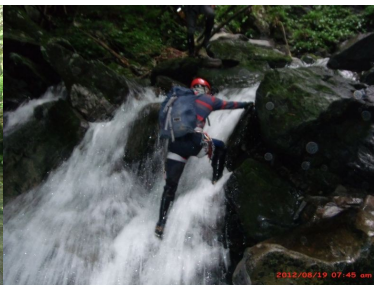
8月19日(日) 晴れ後曇り時々雨

床鍋集落入口の駐車スペース6:45 --- 取水口(入渓点)7:10 --- 二俣9:45 --- 大滝上
10:30 --- 権現越下1,420m付近11:40～12:00 --- 床鍋集落入口の駐車スペース13:50

トポに従い和田さん宅のすぐ裏から左岸に沿って藪を分け入渓点である取水口を目指した。私たちの辿ったルートはやや上部には導水管の保守のためと思われる明瞭な踏み跡があったので、これを辿った方がずっと楽だったろう。滑床谷とは異なり、この谷は様々な変化に富んだ滝を次々に私たちに提供してくれた。いずれの滝もロープを必要とする困難さはなく、私たちは適度の緊張感をもって滝の直登を楽しんだ。この谷唯一の支流を右岸に見送ると、お待ちかねの大滝(40m)が登場。乾いた左壁から上部は落口に沿って直上。落差はあるが岩は堅くホールドもしっかりしているのでロープなしでもいささかの不安もない。大滝を越すと谷は源流の様相となり、やがて権現越からの登山道が流れを横切り終了となる。この登山道が分かりにくく、私たちはうっかり権現越直下まで登り過ぎてしまった。



滑床谷



床鍋谷



床鍋谷大滝登攀